

在来ニンニク「八幡平バイオレット」を中心に 農福連携の多品目栽培

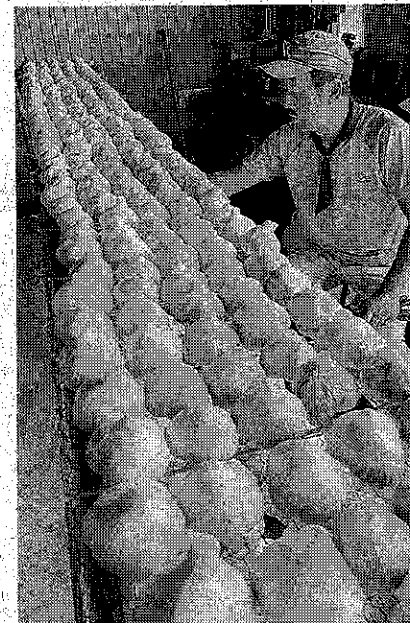
八幡平市 (一社)すばる

【盛岡】農福連携の農業に取り組む八幡平市田頭地区の「一般社団法人すばる(高橋和人代表理事)62歳)」では、同市の在来ニンニク「八幡平バイオレット」を中心に多品目を栽培する。有機農産物JAS認証と有機加工食品JAS認証を取得し、ニンニクは自社で加工・販売。農業を使わない栽培と特産品生産の継続を目指す。

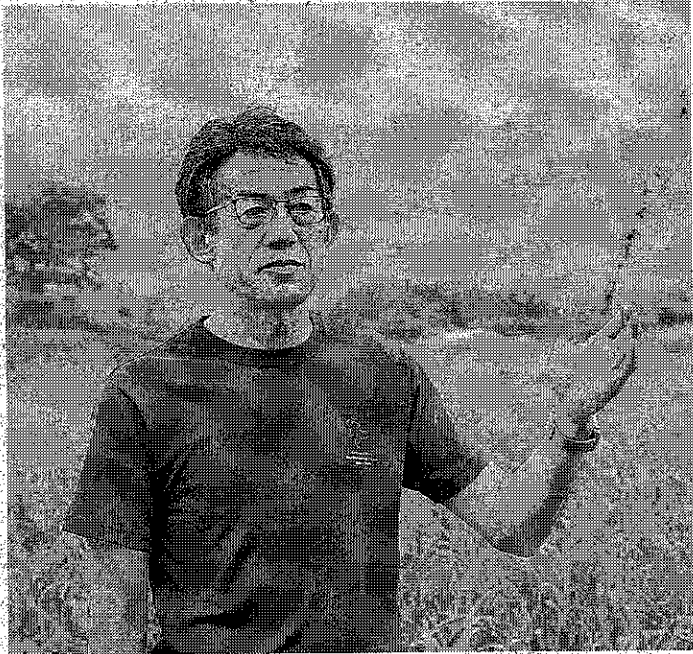
農産物・加工食品で有機JAS認証

同市出身の高橋代表は、「ト」として品種登録し、同年に栽培を開始した。八幡平バイオレットは、外皮が赤紫色で、病気に強く、栽培管理の手間が少なく、一般的なニンニクと比べて皮や実が柔らかく、マイルドな味わいだという。「サイズが大きく、店頭に並ぶとひととき目を引く」在、計3畝を超える圃場で

同市出身の高橋代表は、「ト」として品種登録し、同年に栽培を開始した。八幡平バイオレットは、外皮が赤紫色で、病気に強く、栽培管理の手間が少なく、一般的なニンニクと比べて皮や実が柔らかく、マイルドな味わいだという。「サイズが大きく、店頭に並ぶとひととき目を引く」在、計3畝を超える圃場で



赤紫色の外皮が特徴の八幡平バイオレット(写真提供=高橋代表)



「他県から取り寄せたニンニクはうまく育たなかった。岩手山の火山灰を含む土壌が八幡平バイオレットの栽培に適しているのでは」と高橋代表



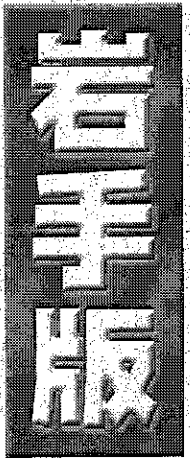
◀八幡平バイオレットなどの商品購入サイト

施設の利用者は植え付けから収穫まで、一年を通じて作業に取り組むという。高橋代表は「今後も農福連携を大事にしていきたい」と話す。

有機加工食品JAS認証は今年4月に取得。自社で八幡平バイオレットを「黒ニンニク」に加工し、道の駅にしねや自社のオンラインショップなどで販売する。

「農業を使わないで、世代を問わず安心して食べられる作物を栽培したい」と高橋代表。「継続が大切。有機栽培の圃場の割合を増やしたい」と意気込む。

(高橋輝)



読者プレゼント
実施中

<http://nosai-iwate.net/>
E-mail:nosai@nosai-iwate.or.jp

岩手県農業共済組合 (NOSAI 岩手)
〒020-0857
盛岡市北飯岡一丁目10番50号
☎019(601)7491
FAX 019(601)7690

プレゼント
応募券
3枚集めて
応募しよう!
7月1日号